補助一マスター編集一表示設定マスター/加工図設定



表示設定マスター/加工図設定では、単品図表示に関する設定を行います。

- ① 〔補助 マスター編集〕の「表示設定マスター」を選択し、「編集」をクリックします。 「表示設定マスター編集」の画面で「加工図設定」をクリックします。
- (2) 「加工図設定」の画面が表示されますので、「OK」をクリックします。
 - ・材長:材長の端数を設定します。
 - ・加工位置:加工位置を表示する際の、端数を設定します。
 - ・勾配:勾配の端数を設定します。
 - ・壁材長:竪枠レイヤに配置された壁ユニット材の材長表示を全長表示、上面表示から選択 します。上面表示の場合、材長が括弧付きで表示されます。
 - ・天井材長:天井レイヤに配置された材の材長表示を全長表示、上面表示から選択します。 上面表示の場合、材長が括弧付きで表示されます。
 - ・屋根材長:屋根レイヤに配置された材の材長表示を全長表示、上面表示から選択します。 上面表示の場合、材長が括弧付きで表示されます。

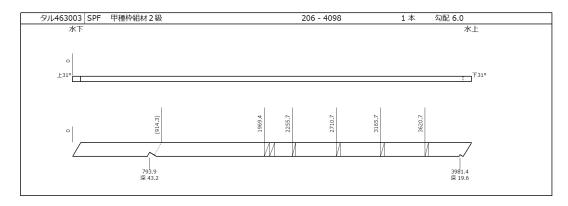
NETEAGLE 1

補助一マスター編集一表示設定マスター/加工図設定

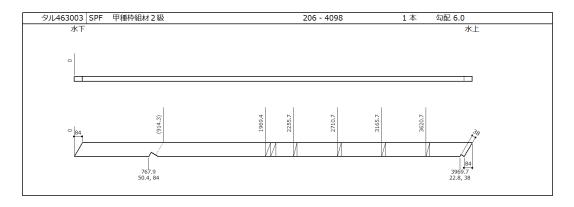
加工寸法 | 角度 | ⑩ 加工長 | ⑩ 区間長

・加工寸法:角度表記と累積長さ表記を選択します。

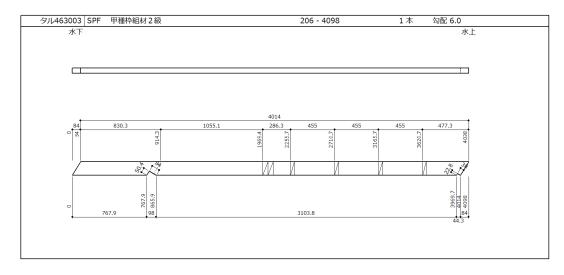
<角度>



<加工長>



<区間長>

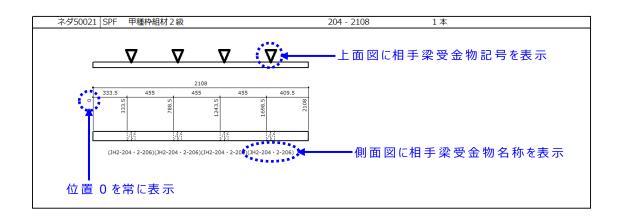


NETEAGLE 2

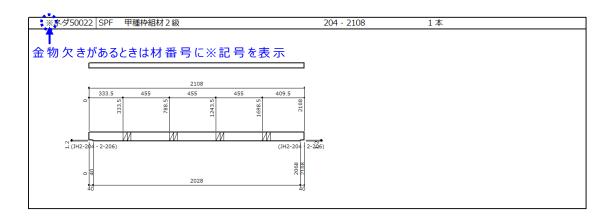
補助一マスター編集一表示設定マスター/加工図設定



- ・垂木始端:累積寸法の追い基準を「水下」か「水上」から選択します。
- ・寸法文字サイズ:表示される寸法値の文字サイズを設定します。
- ・位置 0 を常に表示:チェックをつけると、寸法を表示する際に基準となる「0」位置を表示します。
- ・上面図に相手梁受金物記号を表示:チェックをつけると、上面から見た図に側面の梁受金物 位置を表示します。
- ・側面図に相手梁受金物名称を表示:チェックをつけると、側面から見た図に梁受金物の名称を表示します。



・金物欠きがあるときは材番号に※記号を表示:チェックをつけると、金物欠きがある材の単品加工図の材番号左に※を表示します。



NETEAGLE 3